

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2006年12月21日 (21.12.2006)

PCT

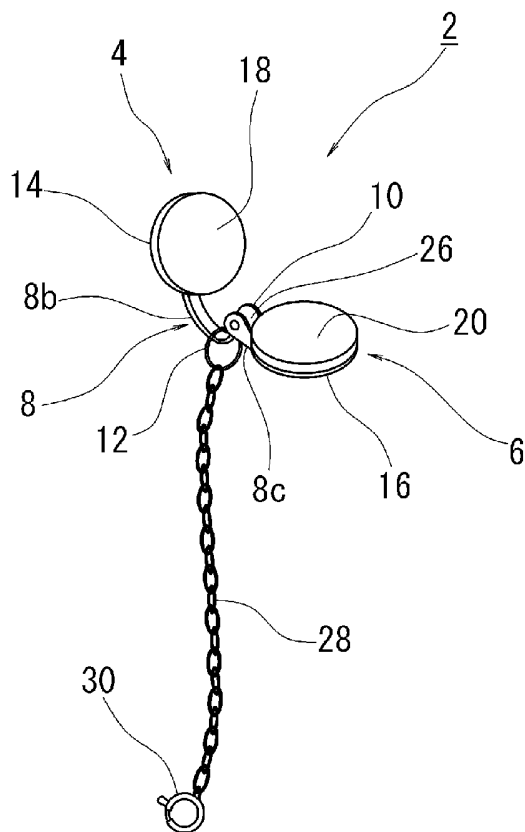
(10) 国際公開番号
WO 2006/134796 A1

- (51) 国際特許分類:
A44C 25/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2006/311209
- (22) 国際出願日: 2006年6月5日 (05.06.2006)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
実願2005-004436 2005年6月14日 (14.06.2005) JP
- (71) 出願人 および
- (72) 発明者: 大月 百合子 (OTSUKI, Yuriko) [JP/JP]; 〒2710072 千葉県松戸市上本郷333番地1号 Chiba (JP).
- (74) 代理人: 菊谷 公男 (KIKUTANI, Kimio); 〒1020094 東京都千代田区紀尾井町3番6号 秀和紀尾井町パークビル4階 紀尾井坂法律特許事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

/ 続葉有 /

(54) Title: FIXING DEVICE FOR NECKLACE

(54) 発明の名称: ネックレス用固定具



(57) Abstract: A fixing device for a necklace for securely fixing the clasp of the necklace at a predetermined position. The fixing device comprises a first holding portion (4) and a second holding portion (6) generally formed in a clip-like shape and facing each other to hold clothes there between, a connection part (8) openably connecting the first holding portion to the second holding portion, and an annular member (12) engaged with the connection part to lock the clasp of the necklace. The opposed portion of the first holding portion to the second holding portion is formed of a member with a magnetic force, and the opposed portion of the second holding portion to the first holding portion is formed of a member attracted by the magnetic force.

(57) 要約: ネックレスの留め金を所定位置に確実に固定するためのネックレス用固定具であって、衣服を挟むことができるように、全体的にクリップ形状をなし、互いに対向して衣服を挟む第1挟持部分(4)と第2挟持部分(6)と、これら第1挟持部分と第2挟持部分とを開閉可能に連結する連結部(8)と、ネックレスの留め金を係止可能に連結部に設けた環状部材(12)とを有し、第1挟持部分の対向部分は磁力のある部材で構成され、また、第2挟持部分の対向部分は磁力によって引きつけられる部材によって構成されている。



添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各*PCT*ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

明 細 書

ネックレス用固定具

技術分野

- [0001] 本発明は、ネックレスの留め金を所定位置に固定するためのネックレス用固定具であって、より詳細には、ネックレスのチェーンに取付られた引き輪式留め金等の金具部分が、前側にずれないように、ネックレスのチェーンを衣服に固定するためのネックレス用固定具に関する。

背景技術

- [0002] 長さの短いネックレスの場合にはそのチェーンに留め金に取り付けられている。ネックレスを着用する場合にはこの留め金を外してチェーンを首のまわりに装着し、この留め金は首の後側、つまり、見えないところに隠す。

しかしながら、装着者の動きによって、この留め金が前側にずれてしまう場合があり、しばらくして、鏡を見てそれに気が付く場合がある。留め金が前側にずれてしまうと美しくなく、せっかくのネックレスが台無しになってしまうという問題がある。

- [0003] これを防止するものとして、ネックレスチェーンの先端に錘をつけて、首の後側に垂らすようになったネックレスが販売されている。

しかし、錘を有する上記従来のネックレスにおいても、動きが激しいと、留め金が前側にずれてしまい、上記問題は未だ解決されていない。

特許文献1:なお、本発明に関連する文献はない。

発明の開示

- [0004] そこで、本発明は、ネックレスの留め金を所定位置に確実に固定するためのネックレス用固定具を提供することを目的とする。

このため、本発明は、ネックレスの留め金を所定位置に固定するためのネックレス用固定具であって、衣服を挟むことができるように、全体的にクリップ状態をなし、互いに対向して衣服を挟む第1挟持部分と第2挟持部分と、これら第1挟持部分と第2挟持部分とを開閉可能に連結する連結部と、ネックレスの留め金を係止可能に連結部に付設したチェーン取付部とを有し、第1挟持部分と第2挟持部分の一方は、磁力

のある部材を備え、第1挟持部分と第2挟持部分の他方が、磁力によって引きつけられる部材、または上記磁力のある部材と引きつけ合う磁力のある部材を備えているものとした。

[0005] これにより、ネックレスの留め金を、直接あるいは鎖を介して、チェーン取付部に取り付け、第1挟持部分と第2挟持部分で例えば襟ぐりの後側部分やタグを挟んで装着すると、ネックレスの留め金が首の前側にずれてしまうのを防止して、ネックレスを所定位置に確実に固定することができる。

図面の簡単な説明

[0006] [図1]図1は本発明の第1の実施例にかかるネックレス用固定具の開いた状態を示す図である。

[図2]図2は第1の実施例にかかるネックレス用固定具の閉じた状態を示す図である。

[図3]図3はネックレス用固定具の装着状態を示す図である。

[図4]図4は第2の実施例を示す図である。

[図5]図5は第3の実施例を示す図である。

[図6]図6はネックレス用固定具と組み合わせて使用される鎖を示す図である。

[図7]図7は第4の実施例を示す図である。

[図8]図8は第4の実施例の詳細を示す拡大展開図である。

[図9]図9は第5の実施例を示す図である。

符号の説明

[0007] 2、50、60、70、80 ネックレス用固定具

4 第1挟持部分

8 連結部

8a 曲がり部の頂点

10 ヒンジ部分

12 環状部材(チェーン取付部)

18 対向部分

20 対向部分

26 板ばね

- 28、64、72 鎖
- 32、66 留め金
- 34 襟ぐりの後側部分
- 52 針
- 56 穴
- 62 環状部
- 72a ループ状部分
- 74 アジャスタ

発明を実施するための最良の形態

[0008] 以下、添付の図面を参照しつつ、本発明の実施の形態を実施例により説明する。

(第1の実施例)

図1～図3は、本発明の第1の実施例にかかるネックレス用固定具を示す。図1はネックレス用固定具を開いた状態を示し、図2はその閉じた状態を示す。図3はネックレス用固定具の装着状態を示す。

ネックレス用固定具2は、ネックレス1の留め金32を所定位置に固定する。

[0009] ネckレス用固定具2は、全体的にクリップ状形態をなし、互いに対向して洋服やTシャツなどの衣服を挟む第1挟持部分4と第2挟持部分6と、これら第1挟持部分4と第2挟持部分6との間に延びる連結部8と、この連結部8に設けられた、第1挟持部分4と第2挟持部分6を開閉可能にするヒンジ部分10と、ネックレス1(のチェーン)や鎖28を取り付けるためのチェーン取付部としての環状部材12とを有する。

[0010] 第1挟持部分4及び第2挟持部分6はそれぞれ、円形の本体部分14、16と、第1挟持部分4及び第2挟持部分6の内側部分であって、互いに対向する対向部分18、20とを有する。第1挟持部分4の対向部分18は磁力のある金属で構成され、また、第2挟持部分6の対向部分20は磁力によって引きつけられる金属によって構成されている。

[0011] また、第1挟持部分4と第2挟持部分6は連結部8によって互いに連結されている。この連結部8は、ネックレス用固定具を側面から見たとき全体的にU字形をなしており、その両端部22、24がそれぞれ、第1挟持部分4と第2挟持部分6に固定されている。

。

より詳細には、連結部8のU字形の端部22、24は、第1挟持部分4と第2挟持部分6のそれぞれの本体部分14、16の外側面の中央部に固定されている。

なお、本願において、「U字形」の語は、U字状の他、曲がり部が角張った「コ字形」、全体的に湾曲した「C字形」、更には、2つ折り形状等、互いに対向している第1挟持部分4から第2挟持部分6へ途中で曲がって延びるあらゆる形状を含む。

[0012] 更に、連結部8には、その途中に、第1挟持部分4と第2挟持部分6を開閉可能にするヒンジ部分10が設けられている。このヒンジ部分10は、U字形の連結部8の中央部の曲がり部の頂点8aから第2挟持部分6側に偏位して設けられている。

連結部8は、曲がり部の頂点8aを含む第1連結部分8bと、他方の第2連結部分8cとを含む。ヒンジ部分10は、第1挟持部分4と第2挟持部分6とを互いに向けて付勢するように組みつけられた、付勢手段としての連結部8の長手方向に延びる板ばね26を備えている。

[0013] 環状部材12は、連結部8の第1連結部分8bに遊嵌されている。

図1～図3には、環状部材12に鎖28を取り付けた状態を示す。一端を環状部材12に取り付けた鎖28の他端には、ネックレス1の留め金32を係止することができる係止具として、引き輪式留め金30が取付られている。

[0014] 以上のように構成されたネックレス用固定具2は、第1挟持部分4と第2挟持部分6を衣服、例えば洋服やTシャツの襟ぐりの後側部分34(図3参照)あるいは図示しないタグに取り付けて使用する。以下の説明では、衣服への取り付け先を襟ぐりの後側部分で代表させる。

まず、衣服の襟ぐりの後側部分34の開きが小さい場合には、ネックレス1の留め金32を直接環状部材に取り付ける。そして、第1挟持部分4と第2挟持部分6を開閉して衣服の襟ぐりの後側部分34を挟んで装着する。

[0015] 一方、衣服の襟ぐりの後側部分34の開きが大きい場合には、図3に示すように、鎖28を介してネックレス1を環状部材12に取り付ける。すなわち、鎖28の一端を環状部材12に取り付け、他端の引き輪式留め金30をネックレス1の留め金32に取り付けてから、第1挟持部分4と第2挟持部分6を図1および図2に示すように開閉して、衣

服の襟ぐりの後側部分34に装着する。

- [0016] 本実施例は以上のように構成され、全体的にクリップ状形態をなし、互いに対向して衣服等を挟む第1挟持部分4と第2挟持部分6と、これら第1挟持部分と第2挟持部分とを開閉可能に連結する連結部8と、該連結部に付設した環状部材12とを有し、第1挟持部分4の対向部分18は磁力のある部材を備え、第2挟持部分6の対向部分20は磁力のある金属を備えているものとしたので、ネックレス1の留め金32を、直接あるいは鎖28を介して、環状部材12に取り付け、第1挟持部分4と第2挟持部分6を開閉して衣服の例えば襟ぐりの後側部分34を挟んで装着すると、第1挟持部分4と第2挟持部分6の対向部分18、20が、衣服の素材を通して磁力によって引き付けられて、衣服をしっかり挟むことができる。

したがって、ネックレス1の留め金32が首の前側にずれてしまうのを確実に防止して、例えばネックレス1の図示しないペンダントヘッドの位置を所定の位置に保持させることができる。

- [0017] とくに、例えば襟ぐりが後側に大きく開いているデザインの場合にも、鎖28を介してネックレス1を環状部材12に取り付けることができることにより、ネックレス1が後に引っ張られることがなく、本来の態様でネックレス1を首周りに装着することができる。しかも、第1挟持部分4と第2挟持部分6が衣服をしっかり挟んでいるので、鎖28が上記第1挟持部分4と第2挟持部分6の装着部位にしっかりと繫留されるから、鎖28に連結されたネックレス1の留め金32が首の前側にずれてしまうのを確実に防止することができる。

- [0018] また、連結部8は、曲がり部の頂点8aを含む第1連結部分8bと、他方の第2連結部分8cとをヒンジ部分10でつなげて構成され、この連結部8の長手方向に延びて配置された板ばね26によって、第1挟持部分4と第2挟持部分6とが互いに向けて付勢されるようになっているから、衣服をさらにしっかり挟んで、衣服から外れてしまうおそれをより確実に防止している。

- [0019] また、連結部8は、第1挟持部分4と第2挟持部分6との間にU字形をなして延び、環状部材12はU字形の連結部の曲がり部に設けられているので、ネックレス1が身体の前側に引っ張られたとき、連結部8を衣服の布地にそった方向へ引っ張るので、

第1挟持部分4と第2挟持部分6で挟んでいる襟ぐりの後側部分34が外側にめくれたり、内側に折れたりすることがない。

[0020] なお、ヒンジ部分10は連結部8の曲がり部の頂点8aから第2挟持部分6側に偏位したところに位置しているので、環状部材12はヒンジ部分10にひっかかることなく、連結部8の曲がり部の頂点8aに移動可能である。したがって環状部材12は、装着状態において連結部8に遊嵌されていても、支障なく常に上記U字形の連結部8の曲がり部に位置づけられる。

[0021] (第2の実施例)

図4は、本発明の第2の実施例を示す。

以下、第1の実施例と異なる構造について説明することとし、同様に構成されている部分は、図に第1の実施例と同じ符号で示すことによって、詳細な説明は省略する。

ネックレス用固定具50は、第2挟持部分6の対向部分20に、第1挟持部分4の対向部分に向かって延びる針52を有する。

また、第1挟持部分4の対向部分は、中央に穴56を有する金属製の環状部材54で構成されている。

第1挟持部分4と第2挟持部分6とが閉じたとき、針52は穴56に受け入れられる。

[0022] 以上のように構成されたネックレス用固定具50を使用するには、第1挟持部分4と第2挟持部分6を開閉して、第1挟持部分4と第2挟持部分6によって、例えば、Tシャツの襟ぐりの後側部分34を針52で刺して挟む。

その他の構成は、第1の実施例と同じである。

[0023] 本実施例は以上のように構成され、第1の実施例に対して、第2挟持部分6に針52を有し、第1挟持部分4には第2挟持部分6と対向して閉じた状態において、第2挟持部分6の針52を受入れる穴56が設けられているものとしたので、第1の実施例と同じ効果が得られるとともに、第1挟持部分4と第2挟持部分6によって衣服を挟んだとき、針52によって衣服を刺しているとともに、針52は第1挟持部分4の穴56内に保持されているので、第1挟持部分4と第2挟持部分6に外力が加わった場合でも衣服の布地上でずれることがなく、衣服から外れてしまうおそれをよりいっそう確実に防止する。

[0024] なお、穴56内に、さらに針52を刺すことができる部材（例えば、フェルト、スポンジ、発泡材、弾性部材等）を接着等により設けることもできる。

これにより、穴56が比較的大きい場合であっても、針52を刺すことができる部材によって衣服の布地を針52の反対側で支持することができ、第1挟持部分4と第2挟持部分6を閉じて針52を衣服の布地に刺す際に、布地を傷めることがない。

あるいはまた、穴56を有する環状部材54の代わりに、第1挟持部分4の対向部分全体を針52を刺すことができる上記の部材で構成することもできる。

[0025] （第3の実施例）

図5は、第3の実施例を示す。

このネックレス用固定具60は、チェーン取付部として、第1の実施例における環状部材12に代えて、連結部8の曲がり部の頂点8aの外面に環状部62を設けたものである。また、鎖28の代わりに、図6に示す鎖64を用いる。

鎖64は両端に留め金66、66を備える。

その他の構成は、第1の実施例と同じである。第1の実施例と同じ構成については詳細な説明は省略する。

[0026] ネckレス用固定具60の使用においては、第1の実施例と同様に、衣服の襟ぐりの後側部分34の開きが小さい場合には、環状部62にネックレス1の留め金32（図3参照）を直接取り付けることができ、また襟ぐりの後側部分34の開きが大きい場合には、鎖64の一方の留め金66を環状部62に、他方の留め金66をネックレスの留め金32に取り付けることができる。

したがって、本実施例のネックレス用固定具60によっても、第1の実施例と同じ効果が得られる。

[0027] （第4の実施例）

図7は、第4の実施例を示す。これは、第1挟持部分と第2挟持部分、および連結部を一体に形成して、一層簡単な構造としたものである。

ネックレス用固定具80は、外観が皮革で覆われた第1挟持部分4Aと第2挟持部分6Aを備え、第1挟持部分4Aと第2挟持部分6Aが同じく皮革の細幅部8Aで連結されている。図7の(a)は第1挟持部分4Aと第2挟持部分6Aを開いた状態、(b)は第1

挟持部分4Aと第2挟持部分6Aを向かい合わせて閉じた状態を示している。

細幅部8Aには環状部材12が遊嵌されている。この環状部材12に鎖64の一方の留め金66が取付られる。

[0028] 図8は、第1挟持部分、第2挟持部分、および細幅部の詳細を示す。(a)は後述するカバーを外して示す展開状態の平面図、(b)はカバーを含めた(a)におけるA-A部断面図である。

第1挟持部分4Aと第2挟持部分6Aは、それぞれ円形の本体部分84、86が柔軟材の皮革で形成されるとともに、当該本体部分84、86と一体の皮革の本体細幅部88で連結されている。すなわち、本体部分84、86と本体細幅部88が1枚の皮革から切り出されて作成される。

[0029] 細幅部8Aで折り曲げられて互いに対向する面において、第1挟持部分4Aの本体部分84には、平面形状が円形の凹部85が形成されて、該凹部85に磁力のある金属94が接着により収容されて取り付けられ、第2挟持部分6Aの本体部分86にも平面形状が円形の凹部87が形成されて、該凹部87には磁力によって引きつけられる金属96が接着により収容されて取り付けられている。

[0030] とくに図8の(b)に示すように、各本体部分84、86は凹部85、87より本体細幅部88側の領域において、本体細幅部へ向かうほど厚みが薄くなるように削がれて傾斜面となっており、これに連なる本体細幅部88は本体部分84、86より薄い厚みDを有する。

[0031] 上記凹部85、87が形成された面上に、本体部分84、86よりも薄い皮革からなり、本体部分84、86および本体細幅部88と同じ平面形状をもったカバー90が、接着により貼り付けられている。

これにより、外観が皮革で覆われ、磁力のある金属94および磁力によって引きつけられる金属96は露出しない。

[0032] 細幅部8Aはその厚みが薄くなっているため、軽い力で容易に折り曲げられ、衣服に取り付けられていない状態においても、対向する第1挟持部分4Aと第2挟持部分6Aは互いに磁力により吸着し合っており、図7の(b)に示されるように全体的にクリップ状に閉じた形態となっている。

ここでは、細幅部8Aが発明における連結部を構成している。

その他の構成は第1の実施例と同じである。

[0033] 以上のように構成されたネックレス用固定具80を使用するには、互いに吸着し合っ
て閉じた状態の第1挟持部分4Aと第2挟持部分6Aを開いてから、衣服の例えば襟
ぐりの後側部分34(図3参照)を挟んで装着する。

衣服の襟ぐりの後側部分34の開きが小さい場合には、ネックレス1の留め金32を直
接環状部材12に取り付けることができるが、襟ぐりの後側部分34の開きが大きい場
合には、例えば第3の実施例で用いた図6に示す鎖64を介してネックレス1を環状部
材12に取り付ける。すなわち、鎖64の一方の留め金66を環状部材12に、他方の留
め金66をネックレス1の留め金32に取り付けられればよい。

[0034] 本実施例は以上のように構成され、第1挟持部分4Aと第2挟持部分6Aの各本体
部分84、86を細幅部8Aで連結した一体構造を柔軟材である皮革で形成し、第1挟
持部分の本体部分84には磁力のある金属94を取り付け、第2挟持部分の本体部分
86には磁力によって引きつけられる金属96を取り付けるとともに、細幅部8Aに環状
部材12を付設してあるので、第1の実施例と同様に、例えば襟ぐりの後側部分を挟
んで装着すると、第1挟持部分4Aと第2挟持部分6Aの対向部分が、衣服の素材を
通して磁力によって引き付けられて、衣服をしっかり挟むことができるから、ネックレス
1の留め金32が首の前側にずれてしまうのを確実に防止できる。

[0035] そして、同じく第1の実施例と同様に、例えば襟ぐりが後側に大きく開いているデザ
インの衣服の場合にも、鎖を介してネックレス1を環状部材12に取り付けることができ
ることにより、ネックレス1が後に引っ張られることがなく、本来の態様でネックレスを装
着することができるという効果を有する。

[0036] さらに、本体部分84、86および本体細幅部88には、同じ平面形状をもったカバー
90が貼り付けられているので、磁力のある金属94や磁力によって引きつけられる金
属96等が露出せず、すべて皮革で覆われたアクセサリ様の外観を呈して、高い美観
を与えるという効果を有する。

また、細幅部8Aは皮革の柔軟性によってU字形に曲がり、機械的なヒンジ部分を
必要としないので、環状部材12がヒンジ部分に引っかかるなどのおそれが全くない。

[0037] (第5の実施例)

なお、上述した各実施例では、いずれも固定長さの鎖28、64を環状部材12あるいは環状部62に連結するものとしたが、長さ調整可能な鎖を用いることもできる。

図9はこのような長さ調整可能な鎖を用いた第5の実施例を示す。ここでは、第1の実施例において鎖28の代わりに鎖72を用いた例を示す。

鎖72は、アジャスタ74に通されている。アジャスタ74は鎖72を通すための貫通孔76を有し、貫通孔76は内面が鎖72と摩擦係合する。

[0038] 鎖72の一端は環状部材に取り付けられ、他端は留め金30を備える。

鎖72の中間部分は、貫通孔76の一方の側からループ状部分72aとして延び、鎖72の端部72b、72cはそれぞれ、貫通孔76の他方の側に延びており、鎖72の有効長さは、ループ状部分72a又は端部72b、72cを引くことにより調節可能である。

その他の構成は第1の実施例と同じである。

アジャスタ74及び鎖72は、磁力によって引きつけられない素材で構成するのが望ましい。

[0039] これによれば、衣服の襟ぐりの開きの大きさによって鎖72の有効長さを調節することができ、ネックレス1の留め金32が余剰の鎖の長さ分、ずれてしまうのを防止することができ、留め金32を首の後側の所定範囲に確実に固定することができる。

そして、アジャスタ74及び鎖72を、磁力によって引きつけられない素材で構成することにより、鎖やアジャスタが第1挟持部分4、4Aやあるいは第2挟持部分6、6Aの磁力によって引きつけられて、鎖72の実質的な有効長さが短くなるようなおそれもない。したがって、ネックレス1が有効長さの短くなった鎖72によって後に引っ張られることなく、本来の態様でのネックレス装着が確保される。

[0040] 本発明は、以上の実施の形態に限定されることなく、請求の範囲に記載された発明の範囲内で種々の変更が可能である。

例えば、第1～第5の実施例においては、磁力のある部材として、磁力のある金属を第1挟持部分4、4A側に設け、磁力によって引きつけられる金属を第2挟持部分6、6A側に設けたが、その逆に、第2挟持部分側に磁力のある金属を設け、第1挟持部分側に磁力によって引きつけられる金属を設けることとしてもよい。

また、磁力によって引きつけられる金属の代わりに、他方の磁力のある金属と引きつけ合う磁力のある金属としてもよい。

さらには、磁力のある部材は金属に限らず、例えばゴム磁石なども使用することができ、磁力を発するものであればその素材を問わない。

[0041] また、第1、第2、第5の実施例では、ヒンジ部分10が連結部8の曲がり部の頂点8aから第2挟持部分6側に偏位したところに位置しているが、ヒンジ部分10は、第1挟持部分4側に偏位していてもよい。この場合にも、装着状態において連結部8に遊嵌された環状部材12が、ヒンジ部分10にひっかかることなく、連結部8の曲がり部の頂点8aに移動可能である。

[0042] なお、図4に示す第2の実施例においては、第1挟持部分4及び第2挟持部分6は、板ばね26及び針52によって、衣服にしっかりと固定されるから、第1挟持部分4および第2挟持部分6の各対向部分18、20は磁力を有さない素材又は磁力によって引きつけられない素材によって構成してもよい。

また、第2の実施例では、針52を第2挟持部材4側に設け、環状部材54を第1挟持部材6側に設けたものとしたが、これとは逆に、針52を第1挟持部材4側に設け、環状部材54を第2挟持部材6側に設けてもよい。

[0043] また、第4の実施例では、柔軟材として皮革を用いたが、これに限定されず、樹脂その他の他を用いてもよい。

なお、第1、第2、第5の実施例では、鎖28、72の各一端側のみ引き輪式の留め金30としたが、両端とも引き輪式の留め金を用いてもよく、環状部材12への取り付けがより容易となる。

また、各実施例における鎖の留め金30、66は、引き輪式の留め金としたが、鎖の留め金はその他の形式のものであってもよく、例えば、S字式留め具、バックル式留め具など、ネックレスの留め具に取り付けることができるいかなる形式の留め具であってもよい。

また、各実施例では、ネックレス用留め具を首の後側の位置で衣服に固定する例について説明したが、衣服のその他の留めやすい部分に取り付けて用いてもよい。

産業上の利用可能性

[0044] 本発明は、ネックレスの留め金の位置を固定することにより、ネックレスの位置ずれを防止するので、ネックレス装着の快適性を増進するのに有用である。

請求の範囲

- [1] ネックレスの留め金を所定位置に固定するためのネックレス用固定具であって、衣服を挟むことができるように、全体的にクリップ状態をなし、互いに対向して衣服を挟む第1挟持部分と第2挟持部分と、これら第1挟持部分と第2挟持部分とを開閉可能に連結する連結部と、ネックレスの留め金を係止可能に前記連結部に付設したチェーン取付部とを有し、前記第1挟持部分と前記第2挟持部分の一方は、磁力のある部材を備え、前記第1挟持部分と前記第2挟持部分の他方が、磁力によって引きつけられる部材、または前記磁力のある部材と引きつけ合う磁力のある部材を備えていることを特徴とするネックレス用固定具。
- [2] 前記連結部は、前記第1挟持部分に固定された第1連結部分と、前記第2挟持部分に固定された第2連結部分とをヒンジ部分でつなげて構成され、該ヒンジ部分は、前記第1挟持部分と前記第2挟持部分とを互いに向けて付勢する付勢手段を有することを特徴とする請求項1に記載のネックレス用固定具。
- [3] 前記第1挟持部分と前記第2挟持部分の一方は、その他方に向かって延びる針を備え、他方の対向部分には、前記第1挟持部分と前記第2挟持部分とが閉じた状態において、前記針を受入れる穴が形成されていることを特徴とする請求項1に記載のネックレス用固定具。
- [4] 前記穴内には、前記針を刺すことができる材料が設けられていることを特徴とする請求項3に記載のネックレス用固定具。
- [5] 第1本体部分、第2本体部分およびこれらをつなぐ本体幅狭部からなる柔軟材の一体構造を備え、前記第1本体部分に前記磁力のある部材を備えて前記第1挟持部分と第2挟持部分の一方とし、前記第2本体部分に前記磁力によって引きつけられる部材、または前記磁力のある部材と引きつけ合う磁力のある部材を備えて前記第1挟持部分と第2挟持部分の他方とし、前記本体幅狭部を前記連結部としたことを特徴とする請求項1に記載のネックレス

用固定具。

- [6] 前記本体幅狭部が、前記第1本体部分および第2本体部分よりも厚みが薄いことを特徴とする請求項5に記載のネックレス用固定具。
- [7] 前記第1本体部分に備えられる磁力のある部材は、第1本体部分の第2本体部分と対向すべき面に形成した凹部に設けられ、
前記第2本体部分に備えられる磁力によって引きつけられる部材、または前記磁力のある部材と引きつけ合う磁力のある部材は、第2本体部分の第1本体部分と対向すべき面に形成した凹部に設けられていることを特徴とする請求項5に記載のネックレス用固定具。
- [8] 前記柔軟材の一体構造における前記各凹部が形成された面には、当該一体構造と同一輪郭形状の柔軟材からなるカバーが貼り付けられて、前記磁力のある部材、磁力によって引きつけられる部材または前記磁力のある部材と引きつけ合う磁力のある部材を覆っていることを特徴とする請求項7に記載のネックレス用固定具。
- [9] 前記一体構造をなす柔軟材および前記カバーをなす柔軟材がそれぞれ皮革であることを特徴とする請求項8に記載のネックレス用固定具。
- [10] 一端部が前記チェーン取付部に取付られ、他端部にネックレスの留め金を係止することができる係止具が設けられた鎖を有することを特徴とする請求項1に記載のネックレス用固定具。
- [11] 前記鎖は、その長さを調節することができるアジャスタを有していることを特徴とする請求項10に記載のネックレス用固定具。
- [12] アジャスタを含む前記鎖は、磁力によって引きつけられない素材で構成されていることを特徴とする請求項11に記載のネックレス用固定具。
- [13] 前記チェーン取付部は、前記連結部に遊嵌された環状部材であることを特徴とする請求項1から12のいずれか1に記載のネックレス用固定具。
- [14] 前記連結部は、前記第1挟持部分と第2挟持部分との間にU字状をなして延び、
前記チェーン取付部は前記U字状連結部の曲がり部に形成されていることを特徴とする請求項2から4のいずれか1に記載のネックレス用固定具。
- [15] ネckレスの留め金を所定位置に固定するためのネックレス用固定具であって、

衣服を挟むことができるように、全体的にクリップ状態をなし、

互いに対向して衣服を挟む第1挟持部分と第2挟持部分と、これら第1挟持部分と第2挟持部分とを開閉可能に連結する連結部と、ネックレスの留め金を係止可能に前記連結部に付設したチェーン取付部とを有し、

前記連結部は、前記第1挟持部分に固定された第1連結部分と、前記第2挟持部分に固定された第2連結部分とをヒンジ部分でつなげて構成され、

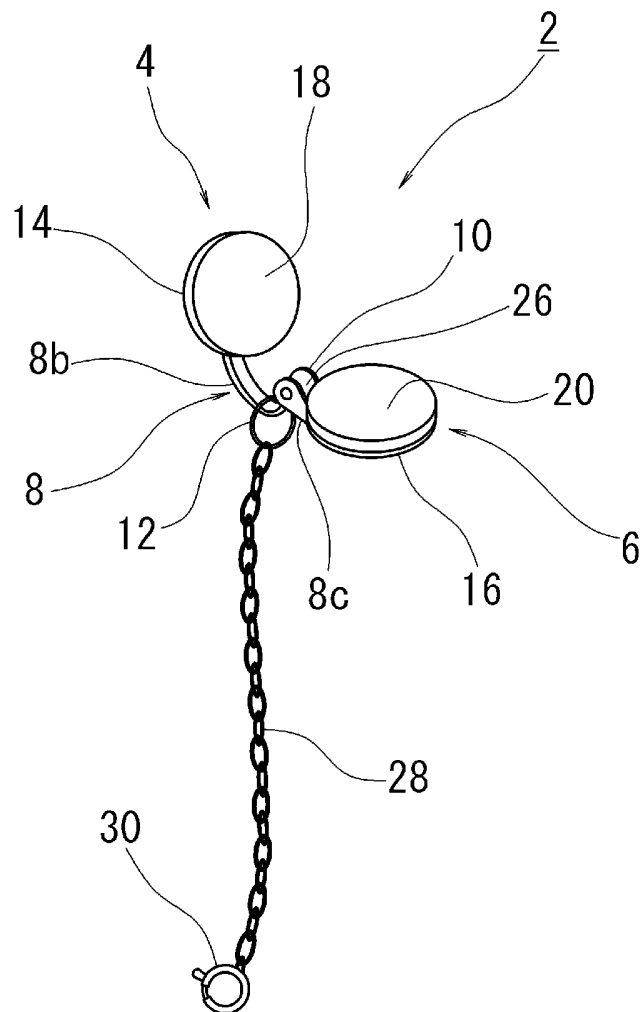
該ヒンジ部分は、前記第1挟持部分と前記第2挟持部分とを互いに向けて付勢する付勢手段を有し、

前記第1挟持部分と前記第2挟持部分の一方は、他方に向かって延びる針を備え

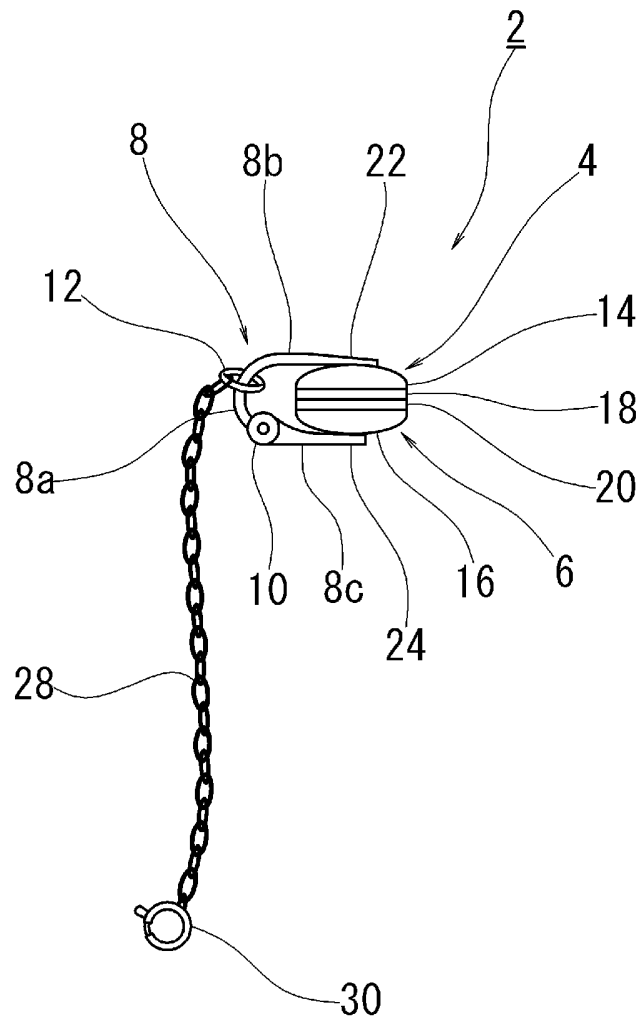
、

前記第1挟持部分と前記第2挟持部分の他方には、第1挟持部分と第2挟持部分とが閉じた状態において前記針を受入れ可能な穴または前記針を刺すことができる部材を備えていることを特徴とするネックレス用固定具。

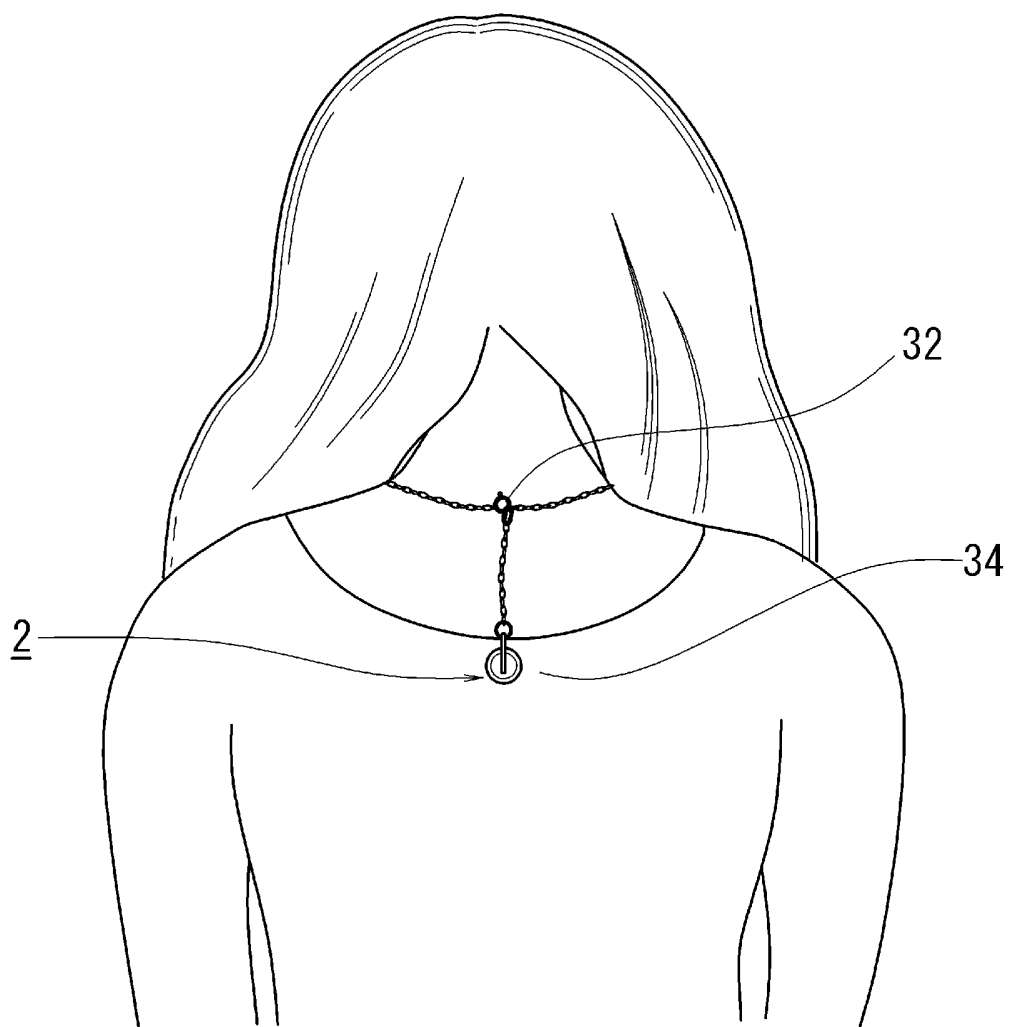
[図1]



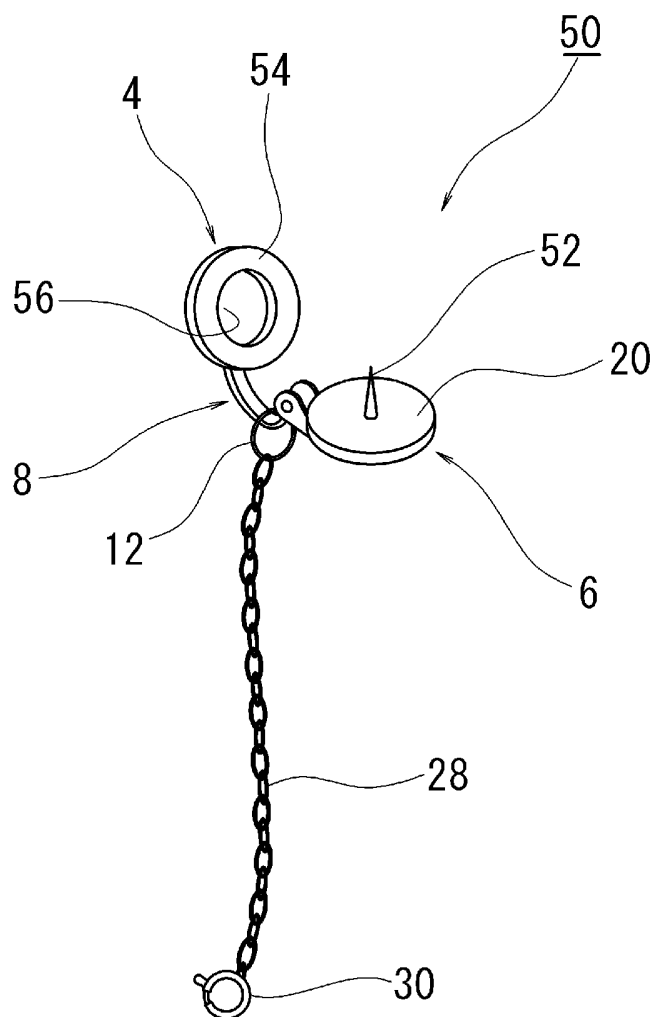
[図2]



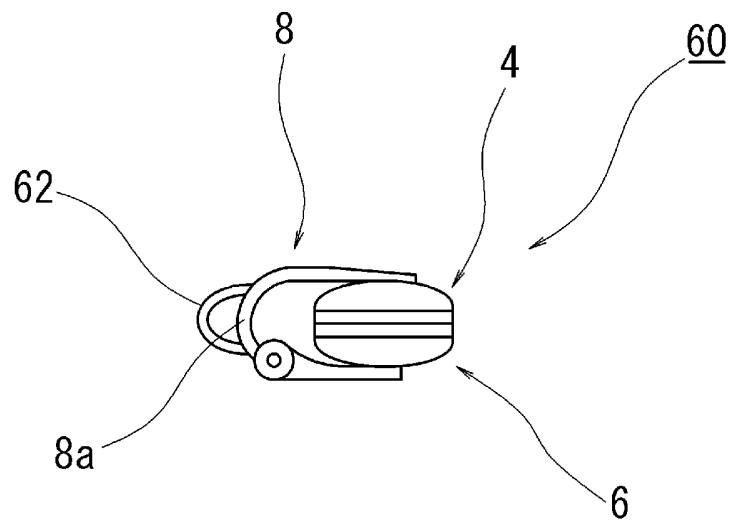
[図3]



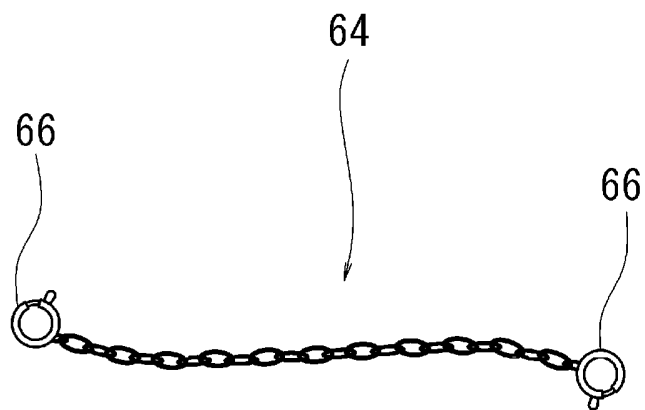
[図4]



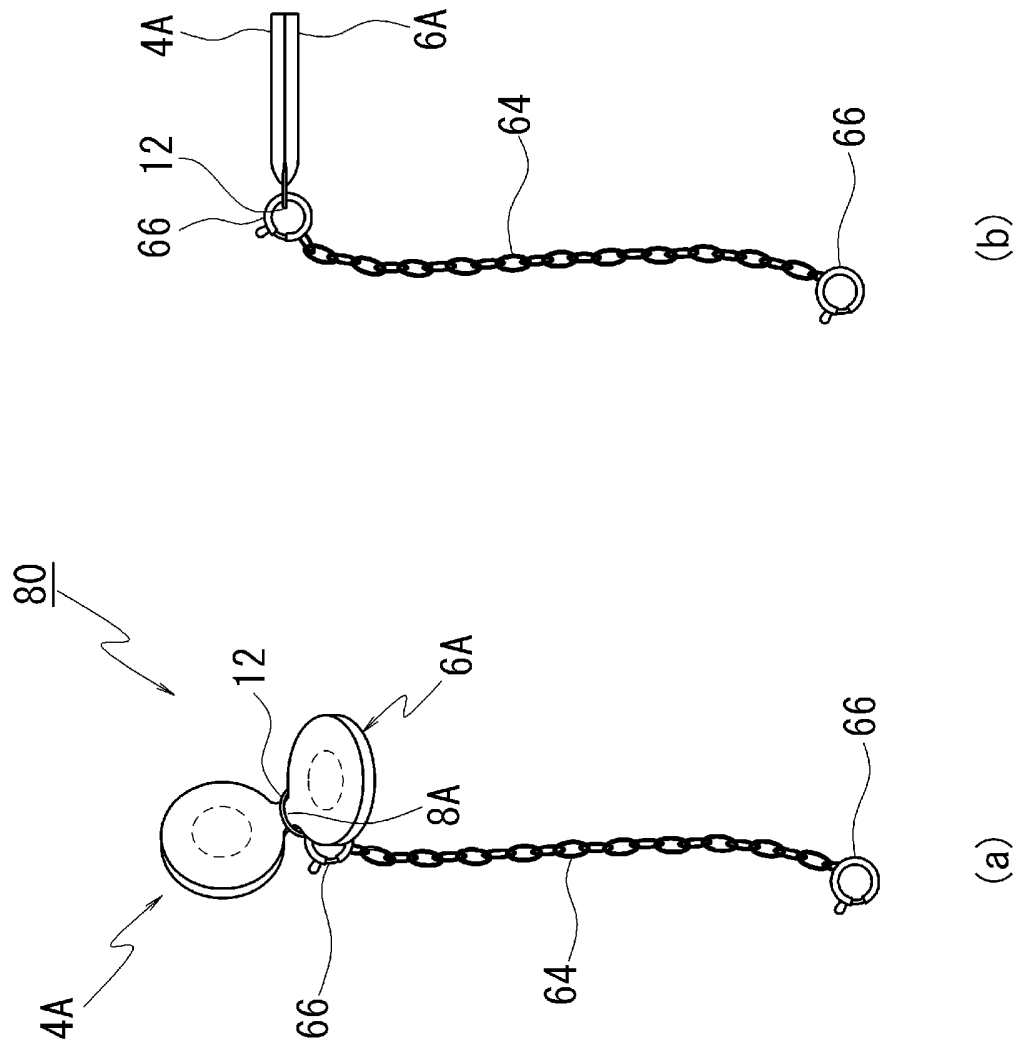
[図5]



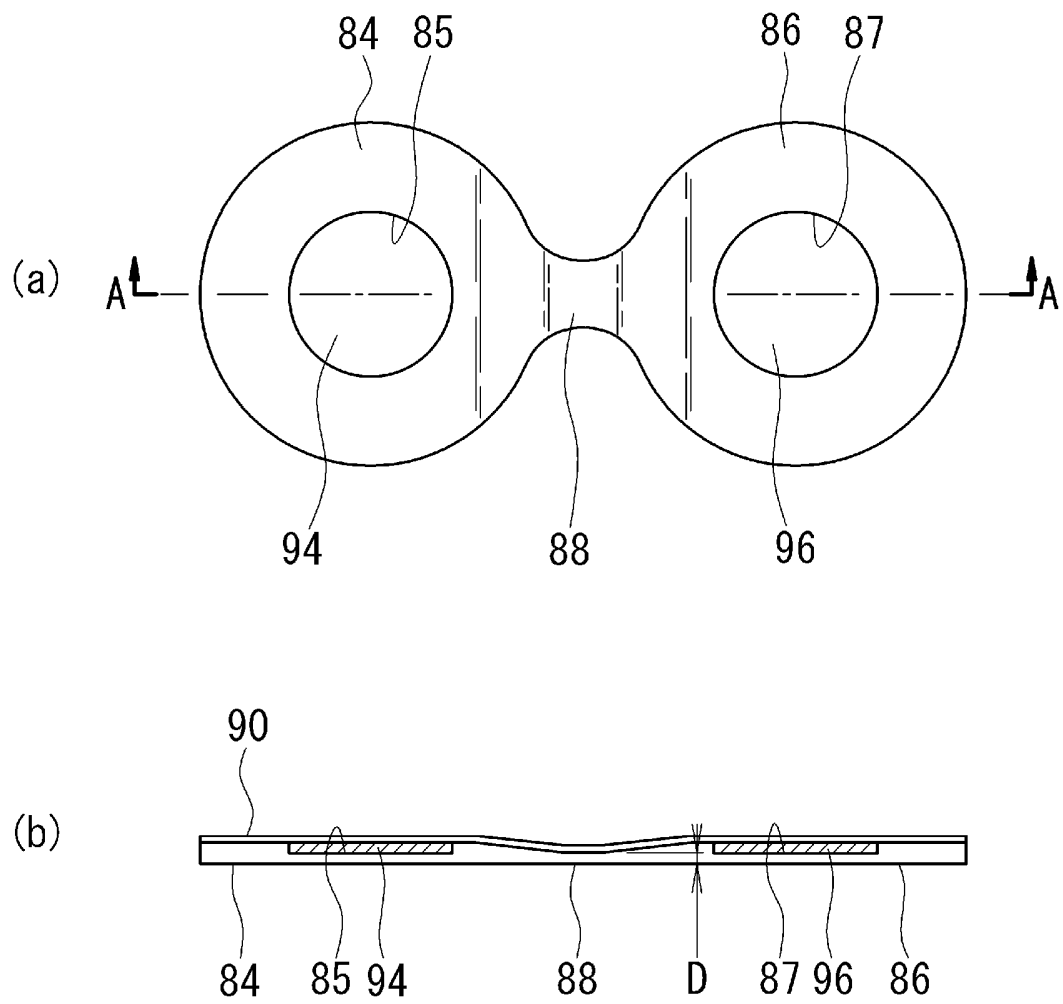
[図6]



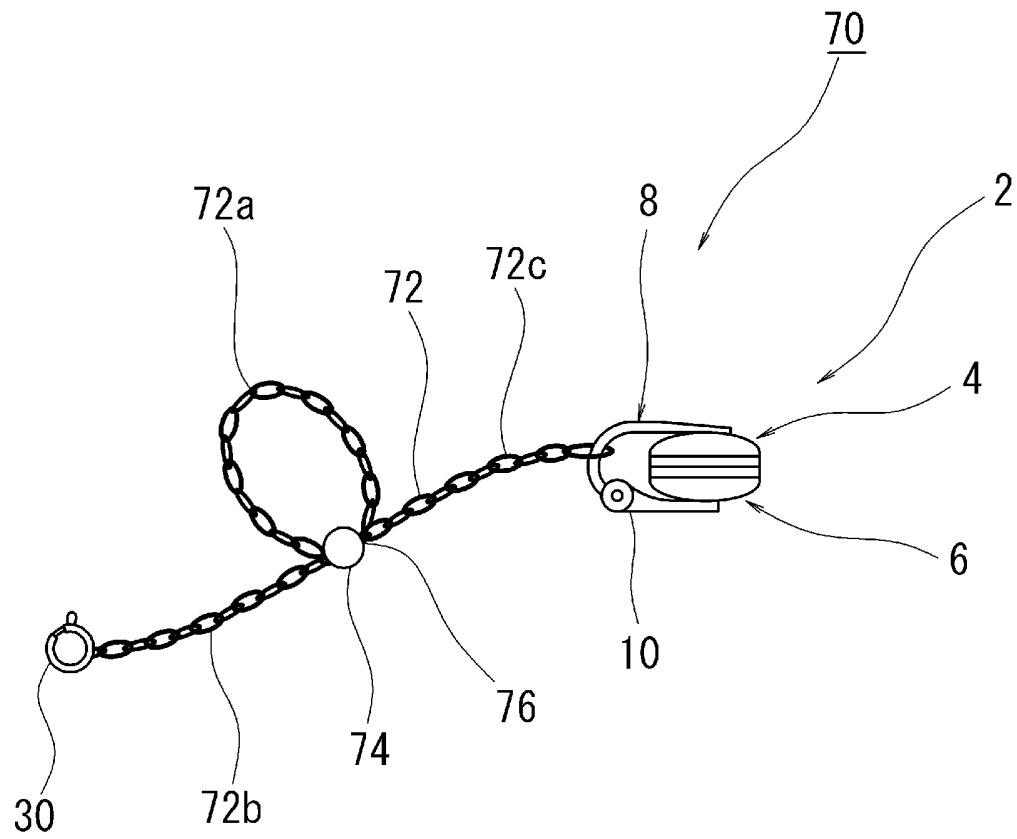
[図7]



[図8]



[図9]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2006/311209

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER A44C25/00 (2006.01)				
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC				
B. FIELDS SEARCHED				
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A44C25/00				
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2006 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2006 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2006				
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)				
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT				
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.		
X Y	JP 2005-118324 A (Asako KAWATA), 12 May, 2005 (12.05.05), Par. Nos. [0001], [0050] to [0060], [0074] to [0076]; Figs. 1, 7 (Family: none)	1 2-15		
Y	JP 2003-210222 A (Asako KAWATA), 29 July, 2003 (29.07.03), Par. Nos. [0005] to [0011]; Figs. 1 to 3, 5 (Family: none)	1-15		
Y	JP 8-321 A (Yukiko HIDAKA), 09 January, 1996 (09.01.96), Par. Nos. [0006] to [0009]; Figs. 1 to 4 (Family: none)	1-15		
☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.				
<table border="0"> <tr> <td> * Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed </td> <td> "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family </td> </tr> </table>			* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family			
Date of the actual completion of the international search 15 June, 2006 (15.06.06)		Date of mailing of the international search report 27 June, 2006 (27.06.06)		
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office		Authorized officer		
Facsimile No.		Telephone No.		

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2006/311209

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 7-1806 U (Kazuyo SUGIMOTO), 13 January, 1995 (13.01.95), Par. Nos. [0006] to [0011], [0021]; Figs. 1, 10 (Family: none)	1-15
Y	JP 2002-78515 A (Akihisa MASAMOTO), 19 March, 2002 (19.03.02), Par. Nos. [0009] to [0012]; Fig. 2, 3 (Family: none)	3, 4, 15

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） Int.Cl. A44C25/00 (2006.01)			
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） Int.Cl. A44C 25/00			
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2006年 日本国実用新案登録公報 1996-2006年 日本国登録実用新案公報 1994-2006年			
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）			
C. 関連すると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号	
X Y	JP 2005-118324 A (河田朝子) 2005.05.12, 段落【0001】、【0050】～【0060】、【0074】～【0076】、図1及び図7（ファミリーなし）	1 2-15	
Y	JP 2003-210222 A (河田朝子) 2003.07.29, 段落【0005】～【0011】、図1～図3、図5（ファミリーなし）	1-15	
Y	JP 8-321 A (日高雪子) 1996.01.09, 段落【0006】～【0009】、図1～図4（ファミリーなし）	1-15	
☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。			
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」同一パテントファミリー文献			
国際調査を完了した日 15.06.2006		国際調査報告の発送日 27.06.2006	
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁（ISA/JP） 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		特許庁審査官（権限のある職員） 岩崎 晋	3R 3741
		電話番号 03-3581-1101 内線 3386	

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 7-1806 U (杉本和代) 1995.01.13, 段落【0006】～【0011】、【0021】図1及び図10 (ファミリーなし)	1-15
Y	JP 2002-78515 A (正本品久) 2002.03.19, 段落【0009】～【0012】図2及び図3 (ファミリーなし)	3、4、15